



東明っ子

ことだま 言葉は言霊・・・「言葉はもう一人の自分」です！



2月2日(月)～2月6日(金)は、「あったか言葉ウィーク」でした。この一週間を通して、子供たちは、「言葉の力」について考える機会となったのではないかと思います。日本には昔から「言霊(ことだま)」という言葉があり、言葉には「魂」が宿ると信じられてきました。「魂」が宿るということは、そこに「心」があるということです。私たちの口から出た言葉には、周囲に影響を与える力があるのです。

美しいものを見て感動したとき、その気持ちをそっと心にしまっておくこともあるでしょう。しかし、その感動を素直に「きれい」と言葉にすると、その思いを周囲に伝えることができます。そうすると、美しさに気付いていなかった人にも、その魅力を感じさせることができます。また、自分の口から出た言葉が自分の耳に返ってくることで、景色の美しさを目だけでなく耳からも感じ取り、全身で味わうことができるのです。

言葉には不思議な力があります。心の中でぼんやり思っていることも、言葉に表すことで形となって確かなものになります。また、言葉にしたことは自分にも返ってくるものです。相手に「だいじょうぶ」と声をかければ、自分にも「だいじょうぶ」と言っていることになり、反対に相手に「馬鹿」と言えば、自分自身に投げかけているのと同じことになります。言葉がもつ影響力はとても大きいものです。優しい言葉は温かな雰囲気をつくり、乱暴な言葉はとげとげしく殺伐とした雰囲気を生み出します。



〈ふわふわことば・ちくちくことばの掲示〉

たった一つの言葉で、人はうれしくなったり、悲しくなったりします。「言葉は言霊(ことだま)」。言い換えれば、「言葉はもう一人の自分」といえるでしょう。ご家庭でも、お子さんと一緒に「自分の言葉」について考えるきっかけとなればうれしいです。家庭や地域の皆様からの「言葉の力」をお借りしながら、東明小学校がさらにあったか言葉のあふれる学校にしていきたいと思ひます。

◇学校給食週間の取組(全校)◇ 1月26日(月)～1月30日(金)

学校給食週間は、特別なメニューがおいしくて楽しいだけではなく、給食をいただくことへの感謝について考える機会でした。給食センターで給食がつくられていく映像を通して、目の前に給食が届くまでにはたくさんの仕事があり、たくさんの人が関わってくださっていることに感謝の気持ちを新たにしたいと思ひます。給食委員が代表してお世話になっている方々へ、子供たちが書いた感謝の手紙を渡しました。自分の生活は多くの方に支えられて成り立っているということを実感できる大切な機会でした。



◇留学生さんと交流しよう(3年生)◇ 2月6日(金)

総合的な学習の時間に富山高専の学生さん(留学生、外国人教師、留学経験者)に来ていただいて、国際理解の意識を高めるための交流会を開きました。子供たちは、グループごとに日本の遊び、食べ物、アニメ、建物、有名人等の紹介を行いました。その後、中国、インドネシア、カナダ、メキシコの4つの国の紹介をしていただきました。子供たちは、日本とそれぞれの国の文化を比べながら、違いがあることに驚いたり、国が違ってても似ていることもあると発見したりしました。日本以外の国のことをもっと知りたいという思いをもったようです。



◇学習参観(全校)◇ 2月6日(金)

学習参観を行いました。お足元の悪く中、多数のご来校をいただきました。また、乗り合わせや徒歩での来校のお願いにご理解をいただき、感謝申し上げます。6年生は、小学校生活最後の学習参観で学年集会を行いました。おうちの方への感謝を伝え、一緒に楽しい時間を過ごしました。1～5年生の学習公開では、1年間で身に付けた力を生かしながら、真剣に学習に取り組む子供たちの様子をご覧いただきました。学習態度や発言の様子から、子供たちの成長を感じていただけたのではないかと思います。

校内版画展

初めての技法にチャレンジしたり、大胆に表現したりした一生懸命な一枚です。

〈1年 カラフルないきもの〉



〈3年 OOな自分〉



〈5年 わたしたちの世界遺産〉



〈2年 たのしく うつして〉

〈4年 進化した生き物〉

〈6年 かがやいている自分〉

学校運営協議会

2月16日(月)

第3回学校運営協議会を開催しました。これまでの取組とアンケート結果を基に学校の諸問題について協議いただきました。来年度の学校運営方針の概要についても、協議していただき、ある程度の方向性も決まりました。今後、詳細を練り上げ来年度の学校運営方針を定めてまいります。今年度は、昨年度よりも数多くの方々に、子供たちの学習をお手伝いいただく「学校支援ボランティア」でご協力いただきました。今後ともお願いの呼びかけを続けていきます。コミュニティー・スクール3年目となる令和8年度も、引き続き地域とともにある学校づくりを目指していきたくと考えております。

◇学校支援ボランティアの方々に参加していただいた活動◇

【5年 家庭科】 エプロンを作ろう!

1月下旬～2月上旬に、ミシンの学習の支援として、地域の方に来ていただきました。5年生は、初めてミシンの学習に取り組みました。ボランティアの方が、難しい工程を丁寧に教えてくださったり、困っているときアドバイスしてくださったりしたおかげで、どの子供も安全に楽しくエプロンの製作に取り組むことができました。今後は、6年生のミシンの学習でお世話になります。



◇今後の予定◇

【1年 生活科】 むかしのあそび

1年生の生活科で昔遊びに挑戦します。お手玉、こま、けん玉、おはじき等に取り組みます。昔から親しまれている遊びではありますが、初めて挑戦する子供もおり、当日を楽しみにしています。

楽しくて充実した 学校生活のために… 「委員会活動(5・6年生)」V

よりよい学校にしていくなために、5・6年生が9つの委員会に分かれて活動しています。シリーズの5回目です。

【給食】給食の時間に、給食の献立や栄養素について放送をしています。季節や旬の食材に関するもの、年中行事に関するもの等、できあがったメニューでは分からないことを伝えています。また、自分の体つくりのために給食を残さず食べるよう働きかけています。1月末の学校給食週間でもいろいろな企画を計画・運営しました。



〈感謝の手紙の表紙づくり〉